016.2
B42
016. 2-B42ウ
1200500723360

眉丈文庫設立概要

始

財團法人

眉丈文庫設立概要

278
119

016.2
B42

財團法人眉丈文庫設立趣意書

聖代ノ徳澤ニ浴シ社會ノ恩愛ニ包擁セラレ祖先以來平和ナル生活ヲ我高岡市ニ送ル先考眉丈木舟町ニ呉服商ヲ營ミ江湖顧客ノ眷顧ニ依リ幸ニ一家ノ經營ヲナシ又本業ノ傍ラ俳道ヲ嗜ミ文學ノ趣味ヲ併セ有セリ不肖襲名家業ヲ繼キシカ時勢ノ推移ヲ察シ業務ヲ換ヘ居ヲ塩倉町ニ移シ日夜之ニ黽勉唯々父祖ノ遺業ヲ失墜センコトヲ恐ル況ヤ輓近思想界動搖シテ産業亦萎靡シテ振ハス窃ニ感慨ニ堪ヘサルモノアリ不肖生ヲ
皇國ニ享ケ何等國家社會ニ貢献セルコトナキヲ恥ツ回顧スレハ先人逝テ既ニ二十有三年今春更ニ老母ヲ喪フ此際ニ當リ父母ノ遺志ヲ繼キ本市商工業ノ改良進歩ニ資スルノ途ヲ求メント欲シ頃者知人親族ニ謀リ記念事業トシテ「財團法人眉丈文庫」ヲ設立シテ以テ其ノ目的ニ副ハシメ

ントス依リテ有價證券等約貳萬壹千圓ヲ寄附シ之カ基金ニ充テ其利子ヲ以テ實業上參考ニ資スヘキ圖書ヲ購入シ一般公衆ノ縦覧ニ供セムトス若シ夫レ之ニ依リテ商工經營上些ノ裨益スル所アラハ聊カ先人ノ遺志ヲ紹述シ之ヲ記念スルニ足ラン乎冀クハ後人子孫其意ヲ體シ益々其機能ヲ發揮セシメ以テ父祖ノ意ニ背カサランコトヲ

大正十五年四月

設立者　金田眉丈

278-119

設立申請

財團法人設立ニ關スル申請書

今般別記ノ通リ財團法人眉丈文庫設立致度候間御認可相成度此段及申請候也

大正拾五年四月貳拾六日

富山縣高岡市塩倉町參拾八番地

設立者　金田眉丈

文部大臣　岡田良平殿

文部大臣許可書

文部省富普一二號

財團法人眉丈文庫設立者

金田眉丈

大正十五年四月二十六日申請財團法人眉丈文庫設立ノ件民法第三十四條ニ依リ許可ス

昭和二年五月三十日

文部大臣　三土忠造　印

登錄ノ終了

財團法人眉丈文庫設立者金田眉丈ハ寄附行爲ニ依リ理事ヲ囑託シ孰レモ就任ノ承諾ヲ得昭和二年六月十七日高岡區裁判所ニ本財團設立ノ登記手續ヲ了ス

圖書館開設

昭和二年十月一日

明治天皇本市ヘ行幸五十周年記念日ヲトシ本文庫開設ス

役員及顧問氏名

理事長　金田眉丈
理事　堀二作
理事　神澤新右衛門
理事　金田豊吉
監事　老田伊三郎
監事　沖信平
監事　金田文吉
顧問　堀豊
顧問　奥田貞樹
顧問　國井喜太郎
顧問　蓮花宗二
顧問　加茂善治
顧問　神澤重治

財團法人眉丈文庫寄附行爲

第壹章　目　的

第壹條　本財團ハ人格ノ修養知能ノ啓發ヲ圖リ實業發展ノ根源涵養ニ資スルヲ以テ目的トス

第貳條　本財團ハ其目的ヲ達センカ爲主トシテ實業ニ關スル圖書ヲ蒐集シ公衆ノ閲覧ニ供スルモノトス

第貳章　名　稱

第參條　本財團ハ財團法人眉丈文庫ト稱ス

第參章　事務所

第四條　本財團ハ事務所ヲ富山縣高岡市塩倉町參拾八番地ニ置ク

第四章　資　産

第五條　本財團ハ設立者ノ寄附シタル左ノ資産ヲ以テ基本財産トス

一、塩水港製糖株式會社株式壹百五拾株
此額面金額七千五百圓
拂込總額金七千五百圓也

一、鬼怒川水力電氣株式會社株式壹百五拾株
此額面金額七千五百圓
拂込總額金七千五百圓也
以上評價金貳萬壹千壹百貳拾五圓也

一、現金參百七拾五圓也

第六條　本財團ニ於テ購入シ又ハ寄附ヲ受ケタル圖書、現金、有價證券土地、建物ハ之レヲ基本財産ニ編入ス

第七條　基本財産ハ左ノ區分ニ從ヒ管理スヘキモノトス

第壹種圖書、第貳種參考品什器ハ本財團ト目的ヲ同フスル圖書館又ハ公共團體ヘ寄託スルコトヲ得、第參種有價證券ハ代表理事ニ於テ完全ニ保管ス、第四種土地、建物ハ收益ヲ圖ル爲メ賃貸スルコトヲ得、第五種現金ハ郵便局若シクハ確實ナル銀行ニ預入スヘキモノトス

第八條　基本財産ハ之レヲ消費スルコトヲ得ス

但第壹種、第貳種ノ財産ニシテ使用ニ堪ヘサルモノ及不用ニ歸シタルモノハ之レヲ賣却スルコトヲ得、第參種、第四種ノ財産ニシテ處分スルノ必要アリト認メタルトキ又ハ處分スルノ有利ナリト認メタルトキハ適當ニ處分スルコトヲ得、第五種現金ハ第壹種乃至第四種ノ財産ニ換フルコトヲ得

第九條　本財團ノ經營費ハ毎事業年度ノ始ニ當リ豫算ヲ編成シ基本財産ヨリ生スル果實其他ノ收入ヲ以テ施設事業及財産維持ニ充ツルモノトス

第拾條　本財團ノ事業年度ハ毎暦年度ニ依ル而シテ毎事業年度ヲ終リタル翌月ニ於テ決算ヲナシ剩餘ヲ生シタル時ハ之レヲ次年度ニ繰越モノトス

但決算ノ都合ニ依リ其一部ヲ基本財産ニ編入スルコトヲ得

第五章　役員

第拾壹條　本財團ニ理事七名以內監事參名以內ヲ置キ理事ノ內壹名ハ代表理事トシテ本法人ヲ代表シ業務ヲ總理ス

但代表理事ニ事故アリタル場合ニハ他ノ年長理事之ヲ代理ス

第拾貳條　代表理事ニハ設立者之ニ任シ其任期ハ無期トス、其他ノ理事幹事ハ代表理事ヨリ之レヲ委囑シ其任期ハ各參ケ年トス

理事幹事中缺員ヲ生シ其補缺トシテ委囑セラレタルモノヽ任期ハ前任者ノ殘任期間トス、理事及監事ハ任期滿了ノ後ト雖後任者ノ就任スル迄其職ニ在ルモノトス

第拾參條　代表理事死亡後ハ設立者ノ代々ノ家督相續人ヲ以テ之ニ任ス、代表理事病氣其他止ムヲ得サル事情ニ依リ辭任セントスルトキハ其法定家督相續人ヲ以テ之ニ任ス、設立者ノ代々ノ家督相續人ノ中未成年其他止ムヲ得サル事情ニ依リ本事業ヲ經營スルコト能ハサル場合ハ理事全員ノ同意ヲ以テ設立者ノ後裔中ヨリ後任者ヲ選出ス此場合ノ代表理事ノ任期ハ未成年又ハ其他ノ事故ノ止ム迄トス、設立者ノ代々ノ家督相續人及後裔中適任者ナキ場合ハ其適任者ノ生スル迄他ノ理事ノ互選ニ依リ代行理事貳名ヲ設ク、代行理事ハ連帶シテ代表理事ノ事務ヲ行フ此場合代行理事

ノ任期ハ代表理事選任ノ時迄延長スルモノトス

第拾四條　代表理事ハ顧問若干名ヲ推薦囑託スルコトヲ得

第拾五條　顧問ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又自ラ意見ヲ開陳スルコトヲ得

第六章　解散

第拾六條　本財團ノ存立期限ハ永久トス、若シ法律ノ規定ニ依リ解散シタル時ハ其財產ハ理事全員ノ同意ニ依リ左ノ各項ノ內何レカニ處分スルモノトス

一、本財團ノ目的ヲ遂行シ得ヘキ公益法人又ハ官公立圖書館ニ寄附

一、設立者又ハ設立者ノ家督ヲ相續シタル者ニ歸屬

第七章　附則

第拾七條　本財團寄附行爲ヲ變更セントスルトキハ代表理事ヨリ發案

278
119

シ理事全員ノ同意ヲ以テ之ヲ決シ主務官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第拾八條　本財團第壹期ノ役員ハ其任期ヲ昭和五年壹月末日迄トス

大正拾五年四月二十六日

富山縣高岡市塩倉町参拾八番地

設立者　金田眉丈

財團法人

眉丈文庫規則

昭和二年十月制定

財團法人

眉丈文庫規則

昭和二年十月制定

財團法人

眉丈文庫規則

第一章　總則

第一條　本文庫ハ人格ノ修養知能ノ啓發ヲ圖ルト共ニ産業發展ノ根源ヲ涵養スヘク主トシテ産業ニ關スル圖書ヲ蒐集シ公衆ノ閲覽ニ供スルヲ以テ目的トス

第二條　本文庫ハ高岡市壚倉町三十八番地ニ設置ス

第三條　本文庫ハ目的達成上必要ナリト認メタルトキハ藏書ノ一部ヲ他ノ圖書館又ハ公共團體ヘ寄託スルモノトス

第四條　本文庫ニ館長一名司書書記各若干名ヲ置ク

第五條　館長ハ館務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

司書ハ館長ノ指揮ヲ承ケ圖書ノ整理保存及閲覽ニ關スル事務ヲ掌ル

書記ハ館長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第六條　本文庫ニ評議員若干名ヲ置キ館長之ヲ囑託シ重要事項ニ關シ評議スルモノトス

第七條　本文庫ハ定期休日ヲ設ケス

但シ臨時休業ハ其都度之ヲ定ム

第八條　本文庫ノ開閉時限ハ午前九時ヨリ午後十時マテトス

但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第九條　圖書閲覽料ハ無料トス

第二章　圖書閲覽

第十條　閲覽者ハ入口ニテ家人ニ其旨ヲ告ケ指示ヲ受クルモノトス

第十一條　圖書ヲ携出借覽セントスルモノハ本文庫所定ノ圖書借覽證ニ必要事項ヲ記入捺印ノ上館長ノ許可ヲ受クヘシ

但シ必要ニ應シ紹介狀ノ持參ヲ要求スルコトアルヘシ

第十二條　同時ニ携出スルコトヲ得ヘキ圖書冊數ハ三冊以內トス

第十三條　圖書ノ携出期間ハ十日以內トス尚引續キ借覽セントスル者ハ一度返納シテ更ニ借受ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條　本文庫ノ開閉時限ハ午前九時ヨリ午後十時マテトス

但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第九條　圖書閲覽料ハ無料トス

第二章　圖書閲覽

第十條　閲覽者ハ入口ニテ家人ニ其旨ヲ告ケ指示ヲ受クルモノトス

第十一條　圖書ヲ携出借覽セントスルモノハ本文庫所定ノ圖書借覽證ニ必要事項ヲ記入捺印ノ上館長ノ許可ヲ受クヘシ

但シ必要ニ應シ紹介狀ノ持參ヲ要求スルコトアルヘシ

第十二條　同時ニ携出スルコトヲ得ヘキ圖書冊數ハ三冊以內トス

第十三條　圖書ノ携出期間ハ十日以內トス尙引續キ借覽セントスル者ハ一度返納シテ更ニ借受ノ手續ヲ爲スヘシ

但シ本文庫ノ都合ニ依リ期間內ト雖返納セシムルコトアルヘシ

第十四條　携出シタル圖書ハ他ヘ轉貸スルコトヲ嚴禁ス

第十五條　貴重圖書及叢書辭書ノ類ハ携出ヲ謝絕ス其他ノ圖書ト雖都合ニ依リ携出ヲ謝絕スルコトアルヘシ

第十六條　閲覽者圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ同一ノ圖書若クハ相當代價ヲ以テ之レヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第三章　圖書寄贈委託

第十七條　寄贈ヲ受ケタル圖書ニハ寄贈者ノ氏名住所及寄贈年月日等ヲ標記シ其好意ヲ永遠ニ傳フルモノトス

第十八條　公衆ノ閲覽ニ供スル目的ヲ以テ圖書ノ保管ヲ委託セラレタル時ハ委託簿ニ記載シ且ツ受託證ヲ交付ス

第十九條　委託圖書ハ本文庫所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナシ天災其他避クヘカラサル事由ニヨリ生セル損失ニ對シテハ其責ニ任セス

第四章　巡回文庫

第二十條　巡回文庫ハ官公衙學校圖書館ノ請求ニ依リ之ヲ回付シ地方公衆ニ閲覽ノ便ヲ與フルモノトス

但シ管理利用等ノ不充分ト認ムルモノニ對シテハ謝絕スルコトアルヘシ

第二十一條　巡回文庫ノ回付ヲ請求スルモノハ自ラ之カ管理ノ責ニ任シ且ツ閲覽成績ヲ報告スヘキモノトス

第二十二條　巡回文庫ノ使用期間ハ一回六ケ月以內トシ本文庫ノ都合ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第二十三條　巡回文庫ノ回付ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トス

第二十四條　巡回文庫ノ借覽人ニシテ圖書ヲ亡失又ハ汚損シタルトキハ本則第十六條ノ規定ヲ管理者ニ適用ス

第五章　附則

第二十五條　館長ハ本則施行ニ關スル細則ヲ定ムルコトヲ得

財団法人 眉丈文庫　自昭和二年六月至昭和二年十二月

收支豫算書

收入之部

一金参百七拾五圓也	基本財産ヨリ編入
一金壹千百五拾圓也	基本財産ヨリ生スル收入
一金壹萬圓也	寄附金
一金五圓也	預ケ金利子
一金五拾圓也	雜收入
計金壹萬壹千五百八拾圓也	

支出之部

一金参千五百圓也	圖書購入費
一金七千五百圓也	基本財産ヘ編入
一金壹百圓也	事務費
一金壹百圓也	創業費
一金参百八拾圓也	豫備費
計金壹萬壹千五百八拾圓也	

278
119

NO.

"F-M"
PAMPHLET BINDERS
are carried in stock in the following sizes

Catalog No.	High		Wide		Thickness
851(菊倍)	30.cm.	x	22.5cm.	x	1cm.
852(四六倍)	26. „	x	18.5 „	x	1 „
853(菊)	22.5 „	x	15. „	x	1 „
854(四六)	18.5 „	x	12.5 „	x	1 „
855(特)	24. „	x	15. „	x	1 „

other sizes are made to order

LIBRARY SUPPLIES OF ALL KINDS
F. MAMIYA & CO.
OSAKA - TOKYO - FUKUOKA

終